

島根原子力発電所温排水影響調査

服 部 守 男
森 脇 晋 平

1. 目 的

島根原子力発電所の運転にともなう温排水による周辺海域の漁場環境・生物に与える影響を調べるために行なった。

2. 方 法

① 調 査 事 項

- イ. 海況調査（水温, 塩素量, 潮流）
- ロ. 水質調査（色度, 濁度, pH, DO）
- ハ. 浮遊生物調査（動植物プランクトン）
- ニ. 生物調査（潮間帯生物, イワノリ分布）

② 調 査 内 容

1. 水温・塩素量

沖合定線 14点(0, 1, 2, 3, 5, 7, 10, 30mの8層)

沿岸定線 19点(0, 1, 2, 3, 5, 7, 10mの7層)

ロ. 潮 流 6点(定点2-0, T-K, 0-5, P, T-M, 18の3, 5, 7, 10, 20, 30mの6層)

ハ. 色度・濁度 2点(取・排水口, 色度は表層, 濁度は0, 1, 3, 5, mの5層)

ニ. pH・DO 6点(定点, 2-0, T-K, 0-5, P, T-M, 18の0, 1, 2, 3, 5, の5層)

ホ. プランクトン7点(定点, 4-E, 4-O, 4-A, 3, 6, 9, 12の10m垂直曳, 北原式定量ネット)

ヘ. 潮間帯生物 20点(片付, 御津地区, 榛刈り, 目視観察, 写真)

③ 調 査 地 点

図1のことおりである。

3. 結 果

水温、色度、濁度に關しては、昭和52年度島根原子力発電所環境放射能等測定技術会に報告、公表した。

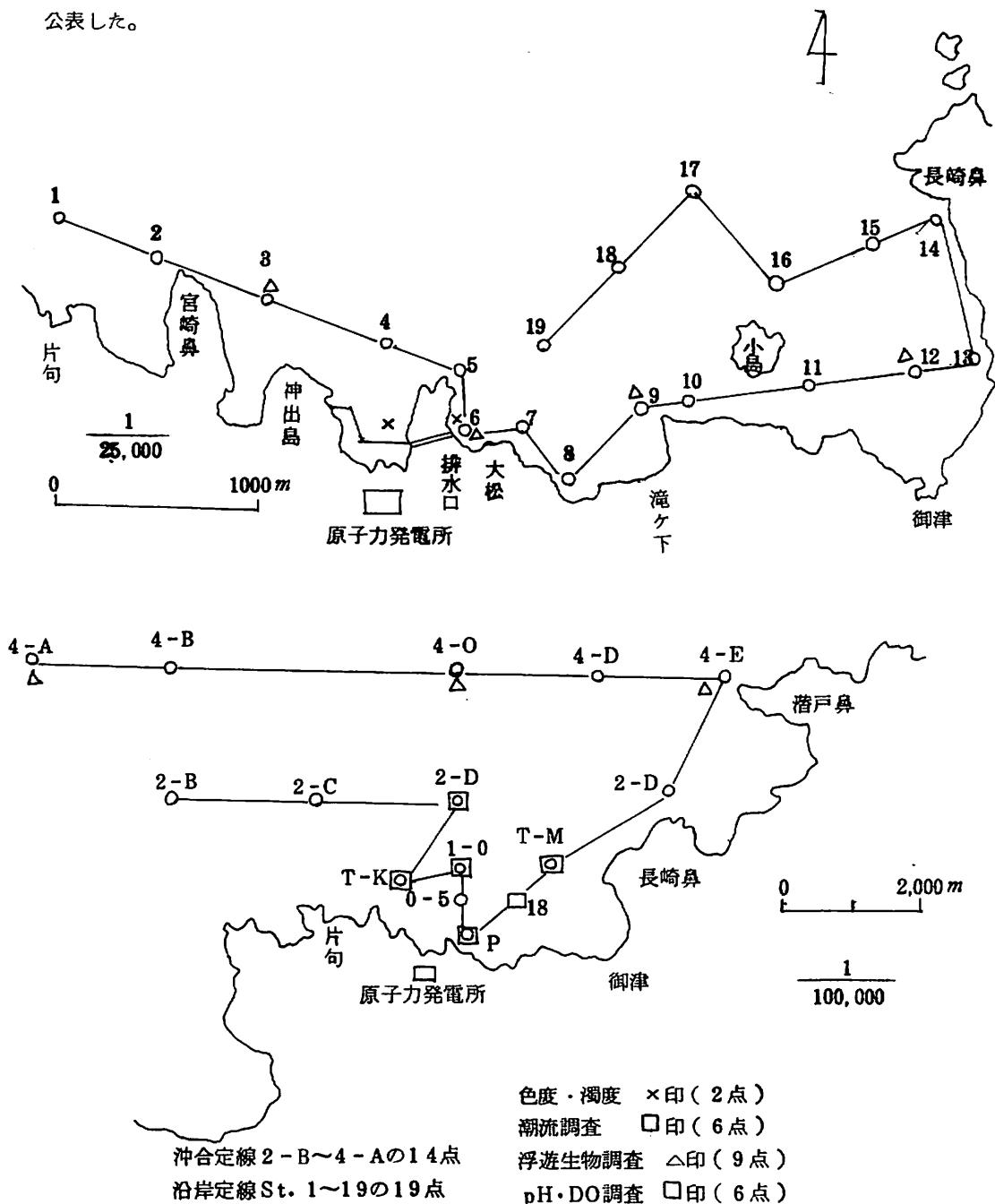


図1. 海況調査地点